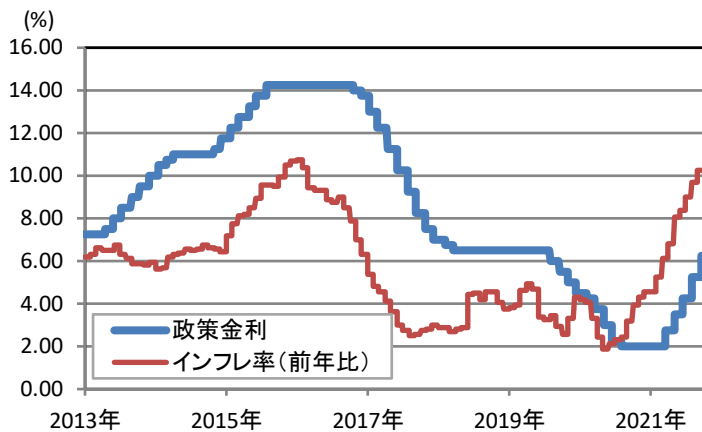


ブラジルの政策金利の引き上げについて

2021年10月27日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を1.50ポイント引き上げ、年率7.75%とすることを全会一致で決定しました。

ブラジル中央銀行は、6会合連続で利上げを実施しました。声明では、世界的な見通しについて、環境は悪化しており、インフレの長期化に対する中央銀行の反応は、新興国市場にとってより困難なシナリオをもたらす可能性があるとしています。この決定は、物価の安定を確保するという基本的な目的を損なうことなく、経済変動の円滑化と完全雇用を促進するとし、リスクバランスの悪化とインフレ見通しの上振れを考慮すると、目標の範囲内にインフレ率を収斂させるためには、この利上げペースが最も適切であると説明しています。ブラジル中央銀行は3月以降、政策金利を計5.75ポイント引き上げていますが、インフレ目標達成を確実にするために次回会合でも今回と同程度の利上げが継続される見通しです。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日～2021年10月27日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2021年5月5日	3.50	0.75
2021年6月16日	4.25	0.75
2021年8月4日	5.25	1.00
2021年9月22日	6.25	1.00
2021年10月27日	7.75	1.50

* 政策金利は Selic、インフレ率は拡大消費者物価指数 (IPCA) を使用。
 * 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータより BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。